

補正予算「ひとり親世帯臨時給付金」賛成討論

吉田 孝雄

公明党京都市会議員団は、議第 179 号令和 2 年度京都市一般会計補正予算に賛成いたしますので、私は会派を代表して討論いたします。

今回の緊急補正予算は、7 月補正予算で計上した「ひとり親世帯への臨時特別給付金」について、厳しい年の瀬を目前にした今の段階で、児童扶養手当の受給世帯や、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて家計が急変した「ひとり親世帯」を対象に、1 世帯 5 万円、第 2 子以降 1 人につき 3 万円を年内に再び支給されるものです。

このほど正式に閣議決定され、予備費のうち約 700 億円の財源も確保される見通しです。4 日の記者会見で菅総理が年内給付を明言されましたが、これはコロナ禍で困窮される方々への支援の中でも特に、子育て負担の増加や雇用情勢の悪化などの影響を受け、緊急の追加支援が必要なひとり親に焦点を当てたものであり、総理の英断に賛同いたします。

現場で給付に関する業務に携わる職員の皆さんにおかれましては、年末の慌ただしい時期に膨大な作業を正確かつ迅速に執行することが求められるものであり、大変なご苦勞かと推察します。尊い任務を遂行する全ての方々に敬意を表するものでございます。

いまだ新型コロナの終息の見通しが立たない中、500 億円の財源不足など、極めて厳しい財政運営を余儀なくされる難局に直面しています。来年度予算編成に向け、事業の見直しや圧縮などが具体的に検討される時期だと思いますが、生活に困窮される世帯や中小事業者への配慮を怠ることなく、弱者に寄り添った視点を堅持すると共に、市民のご理解を深める「見える化」を一層推進する丁寧で分かりやすい情報発信の強化を改めて求め、討論といたします。

ご清聴ありがとうございました。